



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2024年 6月
No.21

●今月の強調目標

YMCA サポート
評価・次年度計画

●今月のことば

「no rain, no rainbow」

米山 俊彦 君 選

今月の例会案内（第21回）

- 日時：2024年6月5日（水）18:30～20:30
- 会場：山梨YMCA
- 司会：米山 俊彦 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 米山 俊彦 君
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話
「歴史文化財行政の紹介と主催事業」
甲府市教育委員会・歴史文化財課
林部 光(はやしべ あきら) 様
- ・諸報告、協議
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

5月のデータ

会員数:12名 例会出席:メンバー8名
ゲスト:橋本晶子様 例会出席率:67%
ニコニコ:6,000円

ハッピーバースデー

メネット 仙洞田克子 (6/12)

アニバーサリー

該当者なし

Photo
of
monthly



5月11日(土)、あずさ部第3回箱根山評議会に参加したメンバー・東京YMCA山手センターにて

今月のことば

米山 俊彦 君

この言葉は、「雨が降らなければ虹は出ない」
雨という試練があつてこそ、美しい虹を見ることができると
いうハワイの諺です。

「これから良いことがきつと起きるよ、そのための雨なんだ。」
そんな意味が含まれています。

時にはつらい思いをしたり、涙を流したりすることはあつても、
その後には、きれいな虹が出る。努力をしたらきつと
いい結果が出るから、その言葉を信じて一生懸命に頑張って
いきましょう！

また、天からの恵みの雨、この自然の恩恵、雨のおかげで
私達はこんなに美しい虹を見ることが出来る。自然にも感謝を
忘れないようにという意味も含まれています。

● 片付けの未来を学んだ5月例会 ●

仙洞田安宏

やまなみクラブ5月例会は大型連休明けの5月8日(水)、山梨YMCAで開催されました。

今月は、やまなみの例会にゲストとして度々出席されている、橋本晶子さんに卓話をお願いしました。

橋本さんは「整理の行動習慣スペシャリスト」という肩書をお持ちで、整理収納とホスピタリティを始め、各種セミナー講師としてこれまでに個人から市民、学校から企業団体まで、3,000人以上の方々にアドバイスしてきた経験をお持ちです。今回は「片付けた先の未来を考えてみませんか?」というテーマで、人生100年時代と言われるこれからの「片付け」についてお話いただきました。



冒頭、大谷翔平選手が高校1年生の時に作成したという、よく知られた「目標達成シート(マンダラチャート)」を紹介され、その中の「運」というキーワードに「ゴミ拾い」と「部屋掃除」が掲げられていて、「運」を呼び込むには片付けが重要なポイントであることを示唆されました。

5月例会ニコニコメッセージより

▼今回、この先まだまだ続く人生を、より良く生きるためのヒントとして「片付け」がお伝えできたらと考えました。まずは1日10分片付けからスタート、自分軸での判断、大事ですね。(橋本晶子)

▼本年度も残り少なくなりました。あと少し頑張っていきたいと思います。(藤原一正)

▼卓話「片づけた先の未来を考えてみませんか」人生100年時代、日頃生活をする上で必要性を感じた素晴らしい卓話でした。(松本公夫)

▼今年度もあとわずかになりました。藤原会長ご苦

次に、「自分片付け現在地チェックシート」で各自が35項目をチェックしました。チェック数が多いほど片付け赤信号ということで、私は13あり「散らかってしまって收拾がつかなくなってしまっている人」という判定でした。全くもってその通りです。多くのメンバーが黄信号か赤信号でした。

お話の中で印象に残ったのは、

・片付けは安心・安全のために「生きる」ため

・終活は「死」のための片付け

どちらも「未来」のための片付けであること、でした。

その具体的な手法として、ひも1本で境界線を引くことで可視化し、要る、要らないの判断基準を設けることが出来ることを紹介され、これは早速実践しようと思いました。

流石に多くの方々にアドバイスされているだけあつ

て、判り易く、説得力のある卓話でした。

その後の諸報告・協議では、藤原会長から今夏開催されるワイズの国際大会に合わせて、ユースのスタディツアーの提案と、タイ・チェンマイクラブからリクエストが来ているIBC締結について協議しました。IBCについてはもう少し検討する余地があるのではないかという事になりました。その他、福田担当主事から6月9日開催の「山梨YMCAチャリティーラン」のラッフル

券購入依頼がありました。

協議に時間が取られ、閉会が大幅に遅れましたが、充実した例会でした。

出席者:藤原・松本・米山・遠藤(恭)・渡邊・大澤・福田・仙洞田、ゲスト卓話者:橋本様

労様でした。米山新会長よろしく申し上げます。

(渡邊 隆)

▼橋本さんの面白い話を聞きました。(遠藤恭範)

▼橋本さん、ありがとうございました。(大澤祥子)

▼橋本さん、ありがとうございました。整理された清潔な環境は好きですが、自らそうした環境を作るのは苦手でしたが、今日を境にライフスタイルを変えるチャレンジをしたいと思います。(米山俊彦)

▼橋本さんの卓話、興味深く聴きました。「ひも1本」で早速机の引き出しの整理をしたいと思います。

(仙洞田安宏)

あずさ部第3回「箱根山評議会」に参加して

米山 俊彦

5月11日土曜日、新宿区西早稲田の東京YMCA山手センターで開催された「第3回あずさ部箱根山評議会」へ藤原会長、仙洞田さん、大澤さんとともに参加をしました。

東京の評議会では、なぜ「箱根山」なのか？ 評議会の案内をいただいた時から疑問に思っていましたが、ホストクラブである東京サンライズクラブ長津徹会長の挨拶の中で説明があり、疑問が解消されてスッキリしました。

東京YMCA山手センターの近くに、かつて尾張徳川家の下屋敷があった戸山公園があり、その中に「箱根山」という山手線内で一番標高の高い築山がある事にちなんで、「箱根山評議会」と命名したとのことでした。

長津会長の歓迎の挨拶に続いて、あずさ部森本俊子部長の挨拶がありましたが、東京、山梨、長野の11クラブの結末と交流を進めるために、様々な方面にご配慮をされながらご尽力いただいた事から、大任を終えられて、ほっとしている様子が伺えました。森本部長、ご苦労様でした。

今年度最後の評議会の議案は、
第一号議案が「2024-2025年度部長活動方針承認の件」
第二号議案が「2024-2025年度予算承認の件」
第三号議案が「2024-2025年度次期部長承認の件」
第四号議案が「あずさ部監事任期変更の件」
の4議案でした。

第一号議案から第三号議案については、滞りなく承認されましたが、監事自らが提案したあずさ部の

監事の任期を2年から1年にする議案については、継続審議となり、当面、2年の任期が継続することとなりました。

次年度の部長活動方針では、部長主題が、ワイズソングにある「めあて望み」で、各クラブ、それぞれ目的をもって活動を行って欲しいとの事でした。

今回、部長主題、活動方針が示されましたので、それに沿う方向で、やまなみクラブの会長主題、方針を考えていきたいと思います。うう～ん？ 悩ましいところですね…。

また、「2024-2025年度次期部長承認の件」では、森本部長から東京武蔵野多摩クラブの山口直樹氏を推薦する旨の提案があり、次年度のピーター・マウントフォード部長（甲府クラブ）の次の部長として決まりました。

議案審議の後は、部長、事業主査、各クラブ会長の活動報告が行われました。

お茶会やコンサート、学生をはじめ、若い人達との連携交流など、様々な特色のある例会や活動の報告があり、大変参考になりました。

第二部は映像による「ホワイトハンドオーケストラの紹介、2024年2月ウィーン公演報告」がありました。

声の合唱と白手袋をした手話の合唱によって、子供も大人も障害を持った人もそうでない人も一体となった表現のコラボレーションによる感動的な映像でした。

その後は、簡単なおつまみと飲み物での懇親会があり、今年度最後の評議会の閉会となりました。全体の参加者は58名でした。



温故知新～史料室の書棚から

仙洞田安宏

あずさ部に関する史料の中に、歴代部長さんの「部長通信」も保存されています。2000-2001年度のあずさ部長を務められた吉田明弘さん(東京西)の部長通信に、各クラブの印象を食べ物に譬えた記述があります。実に言い得て妙と感心したものです。順不同に紹介しますと

▼ 甲府クラブ 「名門料亭の会席料理」

先付けから始まる味も量も備えた格式あるフルコース。どこへ出しても誇れる料理なのに門外不出。

▼ 東京山手クラブ(解散) 「酢豚」

一つ一つの具が大きくてしっかりしています。酸いも甘いもわかる甘酢あんが互いをからめています。酢豚は中国語では「古老肉」、もちろん古も老も尊敬のことばです。

▼ 甲府21クラブ 「1990年ものワイン」

甲府盆地の豊かな土壌が育んだぶどうを原料に樽で(眠らず)10年。適度な酸味と甘さがあります。21世紀が飲みごろでしょう。



▼ 東京サンライズクラブ 「ピクニックランチ」

バスケットの中から何が出てくるかお楽しみ。ロールサンド、おにぎり、フルーツなど。こだわっていないようで、強いこだわりがあり、微妙にバランスが取れています。

▼ 松本クラブ 「水餃子」

▼ 東京西クラブ 「カレーライス」

▼ 東京武蔵野クラブ 「野菜の炊き合わせ」

などです。

2002年にチャーターした東京たんぼぼクラブ以降を、僭越ですが私が独断で挙げてみました。

* 東京たんぼぼクラブ 「フルーツポンチ」

彩り鮮やかな材料に、シロップの甘さ、炭酸の酸っぱさ、アルコールの大人っぽさがミックスしています。

* 富士五湖クラブ 「バーベキュー」

文字通り富士山例会の定番。荒削りの素材を火加減も気にせず(?)賑やかにワイワイしながら飲み食べます。



* 長野クラブ 「精進料理」

善光寺のお膝元らしく、一品一品の質素な素材に、手かけた調理。お腹に溜まらないさっぱりした味付けですが、食後感は満腹。

さて、我が甲府やまなみクラブは何だろう? どんな味付けにしたいでしょうか? 皆で考えてみましょう。



山梨 YMCA 総主事

中田 純子

「かみさまからのおくりもの」

保育園の園長である私は、先日、親子遠足に行ってきました。お天気にも恵まれ空の下でのふれあい遊び、芝滑り、遊具遊び、動物園で動物探しを行い、ご家族の皆様と共に過ごす事ができました。

日頃できないご家族おひとりおひとりとの話ができ、それぞれの思いに触れることができました。また、興味のある物へ走る子、ママパパから離れない子、遊具でどんどん遊ぶ子、動物から離れない子、ずっとおしゃべりしている子、芝滑りが上手な子、ひとりひとりがそれぞれ自分を発揮し豊かな個性を表現してくれた喜びの時でもありました。

家族の思い、こどもひとりひとりの個性に触れ、樋口通子さんの「かみさまからのおくりもの」という絵本が浮かびました。5人の赤ちゃんが生まれると天使が神様からの贈り物を運び届け、その贈り物はひとりひとり違うという内容となっていて「ほっぺの赤い赤ちゃんにはよく笑う」「大きい赤ちゃんには、力持ち」「泣いている赤ちゃんには歌が好き」「よく動く赤ちゃんにはよく食べる」「すやすや寝ている赤ちゃんにはやさしい」がそれぞれに送られ、成長したこどもたちが感謝するものです。

園児とご家族を目の前にして、全ての人それぞれ大切な贈り物を受け取っている、その賜物を発揮していくことが大事だと実感します。それを発揮する場所こそがお互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会です。その社会を創り出す担い手がYMCAです。担い手として大事なことは、人と過ごすその時に感謝し、ひとりひとりが大事な存在であることを伝えていくことのできるかけがえのない場所であることが必要です。また、YMCAは地域と共生することで希望ある豊かな社会の創造を目指しています。

これらを実現するために、今後もワイズメンの皆様にはYMCAを理解し、YMCAに集い、お互いがそれぞれの賜物を輝かせ、共に喜びの時を過ごせる良きパートナーとしてお支えいただきますようお願いいたします。

ワイズメンの皆様の「かみさまからのおくりもの」は何ですか? 私のかみさまからのおくりものは天然(=ポジティブ)かと……皆さんの頷く姿が目には浮かびます。

行事予定

- ✓6月 9日(日) 第26回山梨YMCAチャリティーラン (小瀬スポーツ公園補助競技場)
- ✓6月19日(水) クラブ役員会 (山梨YMCA)
- ✓7月 3日(水) 7月例会(会場未定) (18:30~20:30キックオフ定期総会)
- ✓7月27日(土) あずさ部評議会(ホスト松本クラブ)